

## 第3章 目的・目標の設定

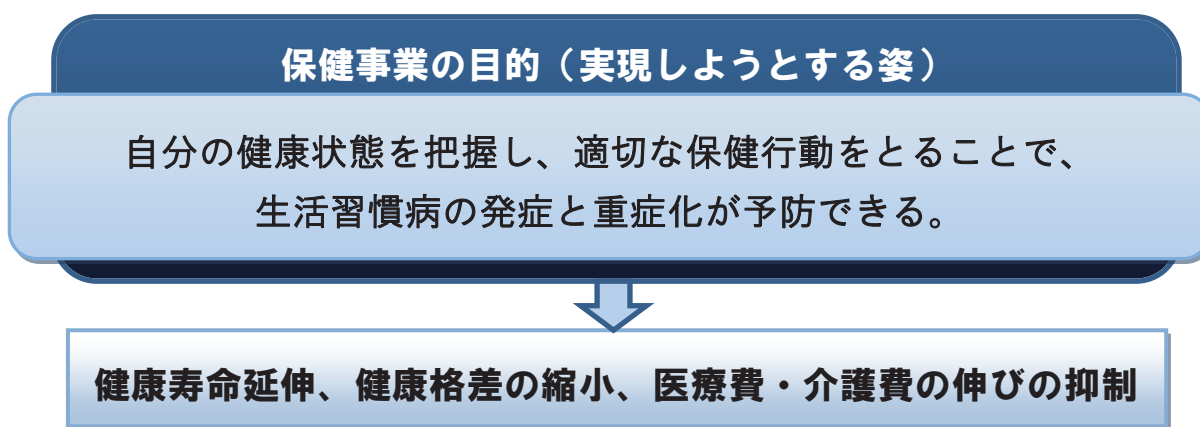
第3章では保健事業の目的と目標を設定します。

### 1 保健事業の目的

目的は、第2章で明らかとなった健康課題を解決するために、保健事業で実現しようとする姿を設定します。

生活習慣病が重症化している実態から、「自分の健康状態を把握し、必要な生活習慣の改善や基礎疾患（高血圧症、糖尿病、脂質異常症等）の治療など、適切な保健行動をとることで、生活習慣病の発症と重症化を予防できること」を保健事業の実施により目指します。このことは、被保険者の健康保持増進により、「健康寿命延伸」「健康格差の縮小」につながるとともに、「医療費・介護費の伸びの抑制」にも寄与します(図 26)。

図 26 保健事業の目的



### 2 保健事業の目標

目的達成に必要な具体的な成果を、目標として設定します。

この計画は2年間の計画であることから、必要な実施体制を整えて生活習慣病予防対策の基礎をつくる期間と考え、目標数値は、第一期計画の評価結果をもとに第二期計画策定時に検討します。

- (1) 短期的目標①「**健診を受けて、自分の健康状態を把握している人の増加**」  
短期的目標②「**健診結果から、メタボ改善に取り組む人の増加**」

まずは、低迷している特定健診の受診率と特定保健指導利用率の向上を図り、血圧・血糖・脂質異常・腎臓機能など自分の健康状態を把握している人を増やし、リスクのある方にはメタボ改善の機会をもってもらふことが必要です。重症化予防のためには、血清クレアチニン・心電図といった付加健診項目の必要性を理解して一緒に受けてもらうことも必要です。

- (2) 短期的目標③「**健診結果から、適切に医療機関を受診する人の増加**」

基礎疾患の未治療者が多いことが、生活習慣病の重症化の要因となっていると考えられるため、健診結果で各学会のガイドラインに基づいて抽出した重症化予防対象となる未治療者を、適切な受診につなげていく必要があります。

未治療者の対象数は多いため、優先する疾患を選定します。

脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病腎症の血管変化における共通リスクとなる高血圧症、脂質異常症、糖尿病を重症化させないことが必要ですが、まずは、脳血管疾患患者の7割以上、虚血性心疾患患者の約8割、人工透析患者の約9割が治療している高血圧症から最初に改善を図ります。

また、今後、慢性腎臓病（CKD）の課題を解決する体制を作っていくことが必要となるため、まずは、腎専門医の治療対象となる蛋白尿 2+以上の未治療者を、治療につなげるところから始めます。

心房細動についても、重度の要介護状態の要因となる心原性脳塞栓症の最大リスクとなり、治療による予防効果が高いことから、早期受診の優先対象とします。

さらに、糖尿病腎症の透析導入を予防する観点から、HbA1c高値の血糖コントロール不良者（特定保健指導対象者を除く）も対象とします。未治療者の減少をまず優先し、治療中の方には医療機関と連携して血糖コントロールの改善を図ります。

- (3) 中長期的目標④「**脳血管疾患・虚血性心疾患を発症する人の減少**」  
中長期的目標⑤「**慢性腎臓病の重症化を防ぐ人の増加**」

生活習慣病の発症予防・重症化予防をすすめることで、脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病腎症、人工透析の新規患者数の減少を目指します。

表 31 目標一覧

	目標	指標	現状値
短期的目標	① 健診を受けて、自分の健康状態を把握している人の増加	特定健診受診率  健診受診者の付加健診受診割合	19.7% (H26 年度法定報告)  86.2% (H26 年度健診結果)
	② 健診結果から、メタボの改善に取り組む人の増加	特定保健指導利用率	6.8% (H26 年度法定報告)
	③ 健診結果から、適切に医療機関を受診する人の増加  【優先対象】 ・ 高血圧 ・ 蛋白尿 ・ 心房細動  ・ H b A 1 c	生活習慣病重症化予防対象者の未治療者の割合減少  【優先対象】 ・ II 度高血圧以上の未治療者 ・ 蛋白尿 2+以上の未治療者 ・ 心房細動未治療者  ・ H b A 1 c 6.5 以上の未治療者	7,129 人 (20.3%)  1,855 人 (4.6%) 200 人 (0.6%) 131 人 (0.4%)  1,777 人 (3.3%)  (H25 年度健診 あなみツール集計)
中長期的目標	④ 脳血管疾患・虚血性心疾患を発症する人の減少	脳血管疾患新規患者数 (1 か月) (患者千人あたり)  虚血性心疾患新規患者数 (1 か月) (患者千人あたり)	765 人 (3.940)  1,007 人 (5.187)  (H27.5 月診療分)
	⑤ 慢性腎臓病の重症化を防ぐ人の増加	糖尿病腎症新規患者数(1 か月) (患者千人あたり)  人工透析新規患者数(1 か月) (患者千人あたり)	135 人 (0.695)  24 人 (0.124)  (H27.5 月診療分)